



## <採血・静脈注射・点滴を受けられる患者さん・付き添いの方へ>



「採血」は病気の診断、病状の把握を行うために、また「静脈注射」「点滴」は治療のために必要な医療行為です。

「採血・静脈注射・点滴」は基本的には安全性の高い手技ですが、まれに合併症（併発症）が起きることがあります。「採血・静脈注射・点滴」の必要性・危険性をご了解の上、お受けいただきますよう、お願い申し上げます。

### 採血・注射・点滴に伴う合併症について

合併症の頻度は極めて少なく、また軽症なものが多いとされていますが、まれに次のようなことが起きる場合があります。

#### 【止血困難・皮下血腫】

あざや内出血ができることがあります。穿刺後の不十分な止血などが主な原因です。

#### 【アレルギー】

採血時の消毒薬やスタッフの手袋（ラテックス）などでかゆみ・発疹などのアレルギー症状が出現することがあります。

#### 【神経損傷】

採血・静脈注射時や後に、腕や手に広がる痛み・しびれなどが生じ、一定時間が経過した後も持続します。約1万回～10万回の穿刺に1回の頻度で起こるとされています。

#### 【血管迷走神経反応】

神経が興奮し、急激に血圧が下がるため、めまい・気分不快感・意識消失などを引き起こします。0.01%～1%の頻度で起こるとされています。心理的に緊張・不安が強いと起こりやすいとされ、採血前に起こることもあります。

※これらの合併症が起きた場合には最善の処置を行います。なお、その際の治療は、通常の保険診療となります。気になる症状がありましたら、すぐにスタッフへお知らせ下さい。

### 採血・静脈注射・点滴を受けられる患者さんへのお願い

○当院では採血・静脈注射・点滴を「安全に」「間違いなく」行うために次のことを確認させていただきます。

ご本人確認・患者間違い防止のため、ご自身の姓名を名乗っていただいております。

下記に該当する患者さんは、スタッフに申し出てください。

- ・採血や注射時に気分が悪くなる方
- ・消毒薬（アルコールなど）や手袋（ラテックスなど）にアレルギーのある方
- ・血液透析中でシャントのある方
- ・乳房切除術を受けられた方
- ・血液を固まりにくくする薬（ワーファリン・バイアスピリン等）を服用されている方
- ・血小板の減少等により、血液が止まりにくい方
- ・以前の採血・注射で痛みやしびれを感じた方

○採血・静脈注射・点滴後はもまらずに血液が止まるまで（5分程度）穿刺部位を圧迫してください。血液の止まりの悪い方は長めの圧迫をお願いいたします。

○結果・検査項目についてご不明な点は担当医にご相談ください。

ご不明な点・ご不安な点がございましたら遠慮なくスタッフにお訊ね下さい。

安全で円滑な採血・静脈注射・点滴には患者さんのご協力が必要となります。

なにとぞ、ご理解・ご協力をお願いいたします。

